



TOP NEWS



「ロボカップ2017名古屋世界大会」で世界第3位の快挙!

～併催されたWEROBでも活躍～

7月27日～31日に「ロボカップ2017名古屋世界大会」が、名古屋市ポートメッセなごや、武田テパオーシャンアリーナ、愛知大学名古屋キャンパスで開催されました。

約40の国と地域から3000人が参加し、本校からはロボカップ研究部の小森工さん(電気電子工学コース4年)、菊池雄一さん(電子情報工学コース4年)がロボカップレスキューのRapidly Manufactured Robot競技に参加し、世界第3位の栄冠に輝きました。本校からは、一昨年のロボカップ2015中国世界大会以来の出場で、通算11回目のロボカップ世界大会出場となります。

併催されたWEROB2017では、多田有佑さんが講演発表を行いました。
※WEROB・・・各機関の教師やメンター、学生を集めて、ロボット工学の経験と現在の実践について話し合うワークショップのこと。

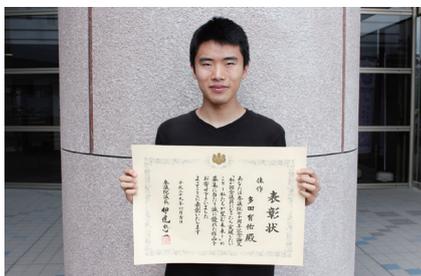
ここからは平成29年度上半期にFacebook公式ページで注目された記事をご紹介します。
Facebook公式ページは右のQRコードを読み取っていただくか、HPからご覧ください。



参議院 70 周年記念論文に入賞!

4年電気電子工学コースの多田有佑さんが、参議院70周年記念論文で佳作を受賞しました。参議院が70周年記念事業として論文を募集し、7,074通のうち優秀賞12通、佳作32通に多田さんの論文が選出されました。受賞論文名は、「科学技術を応援できる国、ニッポンへ」です。

ロボカップ研究部に所属する多田さんは、「日本は技術大国と呼ばれながら科学技術への支援が薄く、科学技術系のコンテスト及びイベントへの投資を増やすこと、女性が科学技術系のテーマに積極的に関わること、義務教育の内容を増やし最先端技術の知識や技術の習得に励むこと」を主張しました。



▲受賞した多田有佑さん



在校生の様子わかる「学生インタビュー」をHPで公開しています。
[入学希望の方]ページからご覧ください。

「MONO-COTO INNOVATION 2017」のファイナリストに選出!

8月10日～15日に「MONO-COTO INNOVATION 2017」の予選大会が、つくばブランドホテル、スクエア荏原イベントホールで開催されました。

MONO-COTO INNOVATION は中高生の創造力、実践力を育み競い合うプログラムで、様々な企業から出題されるテーマに対して参加者の創造力と実践力を動員し、今までにない革新的なアイデア・プロトタイプを創りあげることを目指す「アイデアをカタチにして競い合う、創造力の甲子園」です。企業から与えられた5つの課題に対して、四人一組のチームでアイデアを形にする競技であり、各課題ごとの優勝チーム(5チーム)が12月末の決勝大会に出場できます。

今回は、全国から約150名の中高生が参加し、本校からも電気電子工学コース3年生が5名、2年生が3名、電子情報工学コースの3年生が1名参加しました。その中で電気電子工学コース3年の綱島健太さんの参加したチームが見事ファイナリストに選ばれることになりました。綱島さんたちのチームは、12月の決勝大会までの間に企業と共創する形でプロトタイプを作成することになります。



▲ファイナリスト (綱島さんは左から2番目)

飛行ロボコン出場 飛行船でベストデザイン賞を受賞!

日本航空宇宙学会主催の第13回全日本学生室内飛行ロボットコンテストが、9月1日(金)～3日(日)に、大森スポーツセンターで開催されました。

大会当日は4つの競技部門へ全国の大学と高等専から60チームが出場し、荒川キャンパスからは、一般部門に航空宇宙工学コース4年生、草谷ゼミのWOOD-STOCKチーム(寺下哉子/リーダー、松山高星/パイロット、水谷美実花/工程管理)が自作の飛行船で、またユニークデザイン部門に航空工作部3年生のGCmoverチームが重心移動式飛行機で出場しました。

結果、一般部門では23チームがエントリーして、16チームが大会への出場権を得ていた中で、WOOD-STOCKチームは大会前日の機体審査合格後、大会初日の予選を4位で通過、翌日の決勝では5位と健闘し、特別賞のベストデザイン賞(副賞とボーイング・ジャパン賞)を受賞しました。



▲大会の様子